

【万葉古代学研究彙報】（平成 27 年 1 月～平成 27 年 12 月）

平成 26 年度

- 1 月 8 日 橿原考古学研究所による発掘現場（明日香養護学校）を、稲村和子万葉文化館長、井上さやか主任研究員（以下、井上研究員と略す）、竹本晃主任研究員（以下、竹本研究員と略す）が見学。
- 1 月 10 日 第 5 回主宰共同研究「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究—翻訳にあらわれる日本文学の特色について—」の第 3 回共同研究会を開催。
- 1 月 11 日 第 5 回主宰共同研究「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究—翻訳にあらわれる日本文学の特色について—」の第 4 回共同研究会を開催。
- 1 月 18 日 徳島県立文学書道館で、竹本研究員が「万葉の時代をたずねる」と題して講演。
- 1 月 19 日 兵庫県生きがい創造協会主催の兵庫県いなみ野学園大学文化学科 1 年講座（会場：兵庫県いなみ野学園）において、小倉久美子主任研究員（以下、小倉研究員と略す）が「『万葉集』をよむ—万葉びとの心—」と題して講義。
- 1 月 25 日 奈良市生涯学習財団主催の奈良学セミナー「万葉集を旅する—奈良を歩く前に—」（会場：奈良市中部公民館）で、井上研究員が「万葉集を旅する—飛鳥・藤原・平城—」と題して講演。
桜井市観光協会主催の「万葉講座とサイクリング」において、小倉研究員が「忍坂と記紀万葉」（会場：エルト桜井）と題して講義。
- 1 月 27 日 一般展示室で寛永版本『万葉集』を展示（1/27～3/15）。
- 1 月 28 日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「妻への思い—大伴家持の場合—（462～474 番歌）」を講義。
- 1 月 31 日 東京日本橋の奈良まほろば館主催の「日本の国のはじまりを考える 土曜イブニングセミナー（第Ⅳ期）」で、井上研究員が「8 世紀の大和—古事記・日本書紀・万葉集から考える— 国際都市『飛鳥』」と題して講演。
- 2 月 1 日 東京日本橋の奈良まほろば館主催の「日本の国のはじまりを考える 日曜モーニングセミナー（第Ⅱ期）」で、井上研究員が「古代のうた—日本文化の源泉を探る— 恋をうたう」と題して講演。
- 2 月 2 日 奈良県立医科大学主催の特別講座で、井上研究員が「古代日本の死生観」と題して講義。
万葉文化館ボランティアの会の館外研修「万葉和歌の浦を訪ねての旅」において、竹本研究員が現地解説。
- 2 月 3 日 館内にて、万葉文化館客員研究員懇談会を実施。
- 2 月 7 日 第 60 回万葉古代学講座として、竹本研究員が「万葉の挽歌論について」と題して講演。
- 2 月 8 日 奈良まほろばソムリエの会主催の万葉講座において、井上研究員が「記紀万葉の愉しみ—はじまりの土地・飛鳥から—」と題して講演。
- 2 月 10 日 第 8 回委託共同研究「日本列島の古代における音の超越性—祭祀芸能の比較研究と音楽・映像による実践的研究の視座から—」（研究代表者：福岡ユタカ氏／作・編曲家）の第 5 回共同研究会を開催。
- 2 月 11 日 奈良女子大学古代学学術研究センター主催の第 9 回都城制研究集会「古代都城のその後と古都へのまなざし」（会場：奈良女子大学）で、館野和己氏（奈良女子大学）、山本崇氏（奈良文化財研究所）、岡崎真紀子氏（奈良女子大学）、前川佳代氏（奈良女子大学古代学学術研究センター）、佐藤亜聖氏（元興寺文化財研究所）、豆谷浩之

- 氏（大阪歴史博物館）、森島康雄氏（京都府立山城郷土資料館）、伊藤誠之氏（甲賀市歴史文化財課市史編さん室）らによる報告会の一環として、井上研究員が「文学に見る飛鳥のその後」と題して報告。合わせて、その後の討論会にも参加。
- 2月13日 第8回委託共同研究「日本列島の古代における音の超越性—祭祀芸能の比較研究と音楽・映像による実践的研究の視座から—」（研究代表者：福岡ユタカ氏／作・編曲家）の第6回共同研究会を開催。
- 2月15日 斎宮歴史博物館歴史講座第4回で、竹本研究員が「伊賀・伊勢・志摩の万葉古代学」と題して講演。
- 2月19日 桜井市ボランティアガイド研修会において、井上研究員が「万葉集からみる『桜井』」と題して講演。
- 2月20日 第5回主宰共同研究「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究—翻訳にあらわれる日本文学の特徴について—」の第5回共同研究会を開催。
- 2月21日 第5回主宰共同研究「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究—翻訳にあらわれる日本文学の特徴について—」の第6回共同研究会を開催。
万葉文化館ボランティア研修において、井上研究員が「万葉集の基礎知識」と題して講義。
- 2月22日 奈良市生涯学習財団主催の奈良学セミナー「知れば知るほど好きになる奈良 第2弾」（会場：奈良市中部公民館）で、井上研究員が、西山厚氏（奈良国立博物館学芸部長）、馬場基氏（奈良文化財研究所主任研究員）とともにトークショーを実施。
万葉文化館ボランティア研修の現地研修Ⅱにおいて、小倉研究員が講師を務める。
- 2月25日 講座「万葉集をよむ」で、竹本研究員が「安積皇子挽歌6首（475～480番歌）」を講義。
- 2月26日 兵庫県いなみ野学園大学院2年生が来館し、小倉研究員が対応。
- 2月27日 奈良ホテル雅会主催の総会（会場：奈良ホテル）で、井上研究員が「万葉歌でたどる奈良と飛鳥」と題して講演。
- 2月28日 東京日本橋の奈良まほろば館主催の「日本の国のはじまりを考える 土曜イブニングセミナー（第Ⅳ期）」で、井上研究員が「8世紀の大和—古事記・日本書紀・万葉集から考える— 藤原京のランドスケープ」と題して講演。
- 3月1日 東京日本橋の奈良まほろば館主催の「日本の国のはじまりを考える 日曜モーニングセミナー（第Ⅱ期）」で、井上研究員が「古代のうた—日本文化の源泉を探る— 悲劇をうたう」と題して講演。
- 3月6日 みさと万葉プロジェクト主催・三郷町教育委員会共催のみさと文化講演会（会場：三郷町立図書館）において、井上研究員が「龍田山と聖徳太子」と題して講演。
- 3月7日 橿原総合庁舎の屋上庭園オープニングイベント（会場：橿原総合庁舎）において、小倉研究員が万葉ミニ講座の講師を務める。
- 3月15日 歴史講座「大和歴史紀行」第4回で、竹本研究員が「万葉集にみえる食をさぐる」と題して講演。
- 3月19日 奈良県ならの魅力創造課主催の記紀万葉プロジェクト推進チーム会議および同委員会（会場：奈良文化会館）に、井上研究員が出席。
奈良県ならの魅力創造課記紀万葉プロジェクト推進係による『日本書紀』に関する聞き取り調査に、井上研究員が対応。
- 3月20日 『万葉古代学研究年報』第13号を発行。
- 3月21日 第4回NARA万葉世界賞授賞式および記念行事を開催（会場：万葉文化館）。『万

葉集』のチェコ語による全訳を刊行した、トロント大学教授のアントニー・リーマン氏が受賞。「バーミューダ三角に生きた：プラハ、トロント、奈良」と題して記念講演。

八尾市立歴史民俗資料館平成26年度資料館歴史講座「古代史のなかの八尾」で、竹本研究員が「もうひとつの三野県主」と題して講演。

一般展示室で宝永版本『万葉集』を展示(3/21～5/10)。

- 3月22日 天理市柳本校区運営協議会主催の天理市柳本校区探訪ウォーク講演会(会場：天理市柳本公民館)において、井上研究員が「天理市と万葉集」と題して講演。
- 3月25日 講座「万葉集をよむ」で、小倉研究員が「巻3の構造—巻2との比較—(481～483番歌)」を講義。
- 3月28日 東京日本橋の奈良まほろば館主催の「日本の国のはじまりを考える 土曜イブニングセミナー(第IV期)」で、井上研究員が「8世紀の大和—古事記・日本書紀・万葉集から考える—平城京と記紀万葉」と題して講演。
- 歴史街道倶楽部・歴史のまちウォーク主催の歴史街道倶楽部発足20周年記念企画「歩いてたどる歴史街道の旅 第4弾飛鳥京から藤原京へ～都の変遷を万葉歌とともにたどる～」において、小倉研究員が講師を務める。
- 3月31日 『奈良県立万葉文化館ガイドブック』を発行。

平成27年度

- 4月4日 第115回友の会講座の「記紀万葉ウォーク⑮ 桜花を愛で竜田古道をゆく」において、小倉研究員が引率講師を務める。
- 4月12日 美夫君志会(会場：中京大学)常任理事会に、井上研究員が出席。
- 4月14日 天理参考館主催の「シュリーマン展」内覧会に、稲村館長の随行として井上研究員が出席。
- 4月15日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「巻四相聞歌巻(484～487番歌)」を講義。
- 4月17日 三郷町教育委員会主催「平成27年度みさと万葉学習会」(会場：三郷町立図書館)において、小倉研究員が「竜田川と飛鳥川—『万葉集』にはない万葉歌—」と題して講演。
- 4月20日 兵庫県いなみの学園大学講座で、竹本研究員が「瀬戸内万葉—淡路島とわたつみ—」と題して講演。
- 4月23日 委託共同研究審議会を実施。
- ユネスコ「ESD(持続発展教育)の10年」歴史文化遺産ワーキンググループ会議(会場：奈良教育大学)に、井上研究員が出席。
- 5月7日 特別展「(仮称)春日大社展」の打ち合わせ(会場：春日大社社務所)に、井上研究員が出席。
- 5月9日 第117回友の会講座「記紀万葉ウォーク⑯ 特別拝観と寧楽逍遙の旅」において、井上研究員が引率講師をつとめる。
- 5月10日 美夫君志会常任理事会(会場：中京大学)に、井上研究員が出席。
- 5月14日 古都飛鳥保存財団主催の「飛鳥版科学(飛鳥学冠位叙任試験)」の問題作成委員会(会場：古都飛鳥保存財団事務所)に、井上研究員が出席。
- 5月15日 三郷町教育委員会主催「平成27年度みさと万葉学習会」(会場：三郷町立図書館)

- において、井上研究員が「高橋虫麻呂『詠水江浦島子』歌の手法」と題して講演。
- 5月20日 講座「万葉集をよむ」で、竹本研究員が「額田王と鏡女王（488～491番歌）」を講義。
- 5月23日 一般展示室で「萬葉百首絵歌留多」（絵・前田青邨／書・尾上柴舟）を展示（5/23～7/20）。
- 5月24日 天理市主催のボランティアガイド養成講座（会場：天理市文化センター）において、井上研究員が「万葉歌の愉しみ」と題して講演。合わせて現地研修の引率講師も務める。
- 5月29日 ユネスコ「ESD（持続発展教育）の10年」歴史文化遺産ワーキンググループ会議（会場：奈良教育大学）に、井上研究員が出席。
- 5月31日 第26回万葉古代学東京講座で、小倉研究員が「万葉歌から物語へ」と題して講演。第7回夕星万葉として、井上研究員が「『万葉集』巻1（20～21番歌）天智天皇代②」について講義（いずれも会場は奈良まほろば館）。
- 竹本研究員が退職。
- 6月3日 奈良県立大学シニアカレッジ（会場：奈良県立大学）において、井上研究員が「『万葉集』をひもとく—古代日本の歌と生活—」と題して講演。
- 6月6日 全国大学国語国文学会委員会（会場：大東文化大学）に、井上研究員が出席。
- 6月8日 兵庫県生きがい創造協会主催の兵庫県いなみ野学園大学講座（会場：兵庫県いなみ野学園）において、小倉研究員が「平安時代の『万葉集』」と題して講義。同学園大学院講座においても「万葉の植物文化」と題して講義。
- 6月13日 東アジア比較文化国際会議日本支部理事会（会場：明星大学）に、井上研究員が出席。
- 6月17日 講座「万葉集をよむ」で、小倉研究員が「田部忌寸櫛子の贈答歌（492～499番歌）」を講義。
- 6月20日 明治大学附属博物館友の会主催の「古代史講演会」において、井上研究員が「『万葉集』と『日本書紀』—文学と歴史のはざま—」と題して講演。
- 6月25日 東海道新幹線機内誌『ウエッジ』の取材に、井上研究員が対応（10月号に掲載）。
- 6月27日 美夫君志会常任理事会および理事会（会場：中京大学）に、井上研究員が出席。
- 桜井市立図書館教養講座（会場：桜井市立図書館）で、小倉研究員が「額田王の歌碑」と題して講義。
- 6月27・28日 美夫君志会全国大会（会場：中京大学）において、「万葉日本画」複製6点を含む「万葉文化館パネル展示」を実施。
- 7月4日 市辺地区まちづくり協議会主催の市辺れきし発見塾（会場：市辺コミュニティセンター）において、小倉研究員が「万葉集の絵巻物をつくろう！」と題して小学生を対象にしたワークショップの講師を務める。
- 7月5日 松坂慶子氏による朗読劇「額田王」（会場：万葉文化館）に、井上研究員が対応。
- 第27回万葉古代学東京講座で、竹本晃氏（京都市埋蔵文化財研究所調査研究技師）が「龍田の桜と高橋虫麻呂」と題して講演。第8回夕星万葉として、小倉研究員が「『万葉集』巻1（22～24番歌）天武天皇代①」について講義（いずれも会場は奈良まほろば館）。
- 7月7日 NHK奈良放送局の取材に対して、井上研究員が対応。
- 7月10日 井上研究員が古都飛鳥保存財団主催の「飛鳥版科挙（飛鳥学冠位叙任試験）」の問題の一部を作成。
- 桜井市観光協会主催の万葉講座（会場：桜井市立図書館）において、小倉研究員が「描かれた万葉歌—絵から歌へ、歌から絵へ—」と題して講演。

- 7月15日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「おとめらが袖振留山（500～508番歌）」を講義。
- 7月20日 古代遊学会万葉学習会主催の「万葉集特別講座」(会場:名古屋市緑生涯学習センター)において、井上研究員が「東海の万葉歌—奈良時代の人々のまなざし—」と題して講演。
- 7月25日 第5回主宰共同研究「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究—翻訳にあらわれる日本文学の特色について—」の第7回共同研究会を開催。
一般展示室で「萬葉百首絵歌留多」(絵・小林古径/書・尾上柴舟)を展示(7/25～9/16)。
- 7月26日 第5回主宰共同研究「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究—翻訳にあらわれる日本文学の特色について—」の第8回共同研究会を開催。
第9回委託共同研究「万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」(研究代表者:辰巳正明氏・國學院大學名誉教授)の第1回共同研究会を開催。
- 7月28日 ならの魅力創造課「記紀万葉プロジェクト」に関する質疑に井上研究員が対応。
I T C (International Training in Communication) 日本リージョンカウンスル No.6の館内視察および打ち合わせに、井上研究員が対応。
- 7月29日 奈良県水道局の館内視察および打ち合わせに、井上研究員が対応。
- 8月1日 桜井市立図書館主催の文学講座(会場:桜井市立図書館)において、井上研究員が「三輪と巻向一人麻呂の万葉歌から—」と題して講義。
- 8月4日 新沢典子鶴見大学准教授一行が来館し、井上研究員が館内を案内。
夏休みこども万葉教室の「おえかき万葉風鈴♪」(にぎわいフェスタ夏)において、小倉研究員が講師を務める。
- 8月5日 忍海小学校教諭ヤマガミ氏が視察来館し、井上研究員が館内を案内。
- 8月6日 高円宮妃殿下久子様の高校総体に伴う橿原総合庁舎屋上庭園お成りに際して、井上研究員がご案内役を務める。
- 8月7日 特別展「見る・知る—万葉と春日—～飛鳥と春日大社の宝物～」の集荷作業(場所:春日大社宝物殿)に小倉研究員が立ち合う。
- 8月9日 第28回万葉古代学東京講座で、井上研究員が「神婚譚—神と人とのあわい—」と題して講演。第9回夕星万葉として、小倉研究員が「『万葉集』巻1(25～27番歌)天武天皇代②」について講義(いずれも会場は奈良まほろば館。都合により夕星万葉の講師変更)。
- 8月11日 明日香村文化協会主催の夏期講座において、小倉研究員が「『万葉集』の女性たち—明日香を中心に—」と題して講演。
- 8月19日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「丹比笠麻呂の筑紫下向歌(509～510番歌)」を講義。
- 8月23日 奈良女子大学古代学学術研究センターと共催で、第11回(2015年度)若手研究者支援プログラム・奈良県立万葉文化館第14回夏期セミナー「日本霊異記をよむ」を開催。万葉文化館企画展示室において、公開講演会を実施。館野和己氏(奈良女子大学教授)が「『日本霊異記』に見える交易と銭」と題して、乾善彦氏(関西大学教授)が「日本霊異記から三宝絵へ」と題してそれぞれ講演。
クラブツーリズム主催の「旅がもっと楽しくなるイベント 旅フェスタ2015」(会場:新宿アイランドウイング)において、井上研究員が「明日香と『万葉集』—古代のハンサムウーマンたち—」と題して講演。

- 8月25日 古都飛鳥保存財団主催の「飛鳥版科挙」（飛鳥学冠位叙任試験）の問題作成委員会に、井上研究員が出席。
- 9月4日 奈良県水道局主催の地方公営企業協議会第45回中堅幹部職員研修会にかかる講演会（会場：橿原ロイヤルホテル）において、井上研究員が「『万葉集』に詠まれた明日香・橿原」と題して講演。
- 9月5日 ユネスコ協議会一行が視察来館し、井上研究員が館内を案内。
- 9月7日 NPO法人のべおか天下一市民交流機構主催の「平成27年度のべおか天下一新能楽講座」（会場：延岡市民協働まちづくりセンター）において、井上研究員が「謡曲「春日龍神」と春日信仰」と題して講演。
- 9月10日 北親会主催の平成27年度秋期研修会（会場：万葉文化館）において、井上研究員が「万葉歌によまれた明日香」と題して講義。
- 9月12～14日 株式会社童夢が『マンガ万葉集（仮）』に関して視察来館し、井上研究員が対応。
- 9月16日 講座「万葉集をよむ」で、小倉研究員が「古代女性の針仕事（511～521番歌）」を講義。
- 9月17日 特別展「見る・知る一万葉と春日—飛鳥と春日大社の宝物—」展示作業に、井上研究員、小倉研究員が参加。
- 9月18日 特別展「見る・知る一万葉と春日—飛鳥と春日大社の宝物—」内覧会を開催（会期：9/19～12/13）。プレスプレビューおよび内覧会において、井上研究員が安永学芸員とともに案内をつとめる。
- 9月19日 宮崎県主催の「平成27年度神話のふるさと県民大学」にかかる講演会（会場：カルチャープラザのべおか）において、井上研究員が「日向と大和—万葉歌の中の神話—」と題して講演。
一般展示室で「萬葉百首絵歌留多」（絵・安田鞞彦／書・尾上柴舟）を展示（9/19～12/23）。
- 9月20日 M R T宮崎のラジオトーク番組「サンデーラジオ大学」（パーソナリティー：蘭田潤子氏）に、井上研究員が出演。（放送日：10/4（日）17:00～18:00）
第9回委託共同研究「万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」（研究代表者：辰巳正明氏・國學院大學名誉教授）の第2回共同研究会を開催。
- 9月23日 奈良テレビ「県政フラッシュ」の取材に、井上研究員が対応。
- 9月27日 第12回万葉古代学公開シンポジウム「音と映像で体感する超越性の古層」を開催。研究代表者・福岡ユタカ氏（作・編曲家）らによる、第8回委託共同研究「日本列島の古代における音の超越性—祭祀芸能の比較研究と音楽・映像による実践的研究の視座から—」（平成25・26年度実施）の成果報告として実施。稲村和子万葉文化館長による開催挨拶の後、「物部神社鎮魂祭・大元神楽に見る呪術的古層」福岡ユタカ氏（作・編曲家）、「古代のメロディ」横川理彦氏（音楽家・美学校講師）、「日本列島の靈性—シャーマニズムと音の視座から」春日聡氏（美術家・映像人類学者）が報告され、合わせて上記メンバーによる演奏が実施された。
- 9月28日 古都飛鳥保存財団主催の「飛鳥版科挙」（飛鳥学冠位叙任試験）の問題作成委員会に、井上研究員が出席。
- 9月29日 近畿日本鉄道株式会社一行が視察来館し、井上研究員が館内を案内。
- 10月1日 大谷歩主任技師（以下、大谷技師と略す）が万葉古代学係に着任。
クラブツーリズム共催の「かぎろひ号で行く 古代の人々の息吹を伝える万葉歌を育んだ明日香を訪ねる旅2日間」（会場：近鉄特別列車かぎろひ号車内）において、

- 井上研究員が「明日香と春日―特別展『飛鳥と春日大社の宝物』に寄せて―」と題して講演。その後、大和八木駅から当館へ移動する途中の引率講師をつとめ、館内も案内。
- 10月2日 奈良市生涯学習財団主催の「女性セミナー・文学学習」（会場：京西公民館）において、井上研究員が「古代の奈良と明日香、そして女性たち」と題して講演。
桜井東ふれあいセンター主催の第6回地域ふれあいセミナーにおいて、小倉研究員が『泊瀬女の造る木綿花』について」と題して講演。
- 10月3日 奈良県立大学・奈良信用金庫主催の「なら観光シンポジウム」（会場：奈良春日野国際フォーラム薨）において、井上研究員が「春日と『万葉集』」と題して報告。その後、コーディネータの伊藤忠通県立大学長のもと、岡本彰夫元春日大社権宮司、西田正憲県立大教授とともにパネリストとしてディスカッションにも参加。
- 10月4日 田中大士氏（国文学研究資料館教授）が「春日若宮社神主中臣祐定と万葉集」と題して講演。
- 10月10日 第9回委託共同研究「万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」（研究代表者：辰巳正明氏・國學院大學名誉教授）の第3回共同研究会を開催。
- 10月11日 美夫君志会10月例会において、井上研究員が「古写本と切れ一万葉文化館蔵本を中心に―」と題して研究発表。その後、常任理事会に出席。
第9回委託共同研究「万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」（研究代表者：辰巳正明氏・國學院大學名誉教授）の第4回共同研究会を開催。
- 10月12日 古都飛鳥保存財団主催の「飛鳥版科挙」（飛鳥学冠位叙任試験）が実施され、当館も会場のひとつとして参加。井上研究員を中心に職員が対応。
- 10月15日 ユーラシア会議の一行が視察来館し、井上研究員が館内を案内。同会議メンバーによるディスカッションにも参加。
- 10月21日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「藤原麻呂と大伴坂上郎女（522～529番歌）」を講義。
- 10月28日 特別展「見る・知る－万葉と春日－～飛鳥と春日大社の宝物～」の集荷作業（場所：奈良国立博物館）に小倉研究員が立ち合う。
- 10月29日 I T C（International Training in Communication）日本リージョンカウンスル No.6 主催の第28期会合（会場：奈良ロイヤルホテル）において、井上研究員が「『万葉集』に視る古代女性の国際性」と題して講演。開催にあたり、当館所有の古代衣装も貸し出され、会員による歌垣のデモンストレーションが実施された。
- 10月31日 府大四十会一行が来館し、大谷技師が「万葉集と飛鳥」と題して講話および館内案内を務める。
- 11月1日 こども万葉教室として「万葉ことばあそび～書いてみよう！自分だけの文字～」を実施。井上研究員が講師を務める。
第9回委託共同研究「万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」（研究代表者：辰巳正明氏・國學院大學名誉教授）の第5回共同研究会を開催。
- 11月3日 村瀬憲夫近畿大学名誉教授一行が来館、井上研究員が対応。
- 11月6日 マリア・キアラ・ミリオレ氏（イタリア国立サレント大学教授）、アントニオ・マニエリ氏（イタリア国立ナポリ東洋大学博士研究員）が来館。
- 11月7日 第5回主宰共同研究「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究―翻訳にあらわれる日本文学の特徴について―」の第9回共同研究会を開催。

- 11月8日 第5回主宰共同研究「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究—翻訳にあらわれる日本文学の特色について—」の第10回共同研究会を開催。
- 11月10日 奈良県「記紀万葉プロジェクト」にかかる「なら記紀・万葉名所図会」英訳版発行について、翻訳者エリコ・ロウ氏が来館、井上研究員が館内を案内し質疑応答。
平成27年度奈良県立大学シニアカレッジ特別講義（会場：奈良県立大学）において、小倉研究員が「万葉歌留多の世界」と題して講義。
- 11月18日 講座「万葉集をよむ」で、大谷技師が「安貴王の歌（530～535番歌）」を講義。
- 11月19日 サントリー美術館副館長勝田哲司氏一行が視察来館し、井上研究員が館内を案内。
桜井東ふれあいセンター主催の「地域ふれあいセミナー」において、井上研究員が「泊瀬川—万葉歌と古代歌謡—」と題して講演。
- 11月20日 東京古典会主催の「大入礼会下見展観」に、井上研究員が参加。
- 11月23日 第61回万葉古代学講座として、鳥根県立古代出雲歴史博物館・三重県立斎宮歴史博物館と当館との3館連携シンポジウム「文化のトライアングル—古代日本を巡って—」（会場：万葉文化館）を実施。松谷幸和奈良県副知事による開催挨拶、黒崎寿政氏（鳥根県立古代出雲歴史博物館長）、榎村寛之氏（三重県立斎宮歴史博物館学芸課長）、稲村和子当館館長らの各館長挨拶の後、中西進当館名誉館長が「文化のトライアングル—古代日本をめぐる—」と題して基調講演を、井上研究員が「古代文学にみる国際都市・明日香」、吉永壮志氏（鳥根県立古代出雲歴史博物館学芸員）が「風土記から読み解く古代出雲」、榎村寛之氏が「傍国のうまし国 伊勢国像の形成」と題してそれぞれ研究報告を行った。
- 11月28日 京都府城陽市東部コミュニティーセンター主催の「文学講座」（会場：城陽市東部コミュニティーセンター）において、井上研究員が「『万葉集』と春日 特別展「見る・知る—万葉と春日— 飛鳥と春日大社の宝物」」と題して講演。
- 11月29日 第121回「記紀万葉ウォーク[®] 晩秋の明日香路を巡る」で、大谷技師が引率講師を務める。
- 12月1日 奈良芸術短期大学主催の「明日香学講座」（会場：奈良芸術短期大学）で、井上研究員が「明日香（飛鳥）と万葉集（1）」を講義。
- 12月2日 奈良県「記紀・万葉プロジェクト」の「日本書紀すごろく」および「記紀・万葉名所図会 日本書紀編」の制作に関する質疑に、井上研究員が対応。
- 12月5日 全国大学国語国文学会の委員会に、井上研究員が出席。
万葉文化館ボランティア研修において、小倉研究員がスキルアップ研修の講師を務める。
- 12月7日 稲村館長の三笠宮邸およびアナトリア考古学研究所訪問に、井上研究員が随行。
- 12月8日 奈良芸術短期大学主催の「明日香学講座」（会場：奈良芸術短期大学）で、井上研究員が「明日香（飛鳥）と万葉集（2）」を講義。
桜井記紀万葉プロジェクト推進協議会主催の桜井記紀万葉歌碑原書展関連イベントとして、小倉研究員が桜井市立安倍小学校6年生特別授業の講師を務める。
- 12月16日 講座「万葉集をよむ」で、小倉研究員が「高田女王の歌（536～542番歌）」を講義。
- 12月23日 第62回万葉古代学講座において、井上研究員が「飛鳥に生きた女性たち」と題して講演。

※肩書き・題目などは、すべて当時のもの。

◆専任研究員のおもな業績（平成 27 年 1 月～平成 27 年 12 月）

井上 さやか

[研究論文]

- 「『飛鳥 明日香』—異文化をどう和化したか—」（『國學院雑誌』116-1 号、國學院大學）平成 27 年 1 月
- 「『池神の力士舞』再考」（『万葉古代学研究所年報』第 13 号）平成 27 年 3 月

[評論など]

- 「春日大社と『万葉集』」（奈良県立万葉文化館特別展「見る・知る—万葉と春日—～飛鳥と春日大社の宝物～」図録）平成 27 年 9 月
- 書評「鈴木道代著『大伴家持と中国文学』」（『國學院雑誌』116-10 号、國學院大學）平成 27 年 10 月

[研究発表]

- 「古写本と切れ—万葉文化館蔵本を中心に—」（美夫君志会 10 月例会）平成 27 年 10 月

[その他]

- 「あふち（センダン）」ほか 5 項目執筆（川上富吉編・青島鞠子插花『萬葉集名花百種鑑賞』新典社）平成 27 年 2 月
- 「おすすめ万葉歌」（『よろずは』平成 27 年 2 月）
- 「はじめての万葉集 vol.13 明日香に吹く風」（『県民だより奈良』2015 年 5 月号〔第 347 号〕、奈良県広報広聴課）、平成 27 年 5 月
- 「おすすめ万葉歌」（『よろずは』平成 27 年 5 月）
- 「はじめての万葉集 vol.15 天の香具山」（『県民だより奈良』2015 年 7 月号〔第 349 号〕、奈良県広報広聴課）、平成 27 年 7 月
- 「万葉歌の魅力さをさぐる（34）ことばの力」（『天飛ぶ』42 号、万葉文化館友の会）、平成 27 年 7 月
- 「おすすめ万葉歌」（『よろずは』平成 27 年 7 月）
- 「万葉集（嫁入本）」ほか 7 項目解説（奈良県立万葉文化館特別展「見る・知る—万葉と春日—～飛鳥と春日大社の宝物～」図録）平成 27 年 9 月
- 「おすすめ万葉歌」（『よろずは』平成 27 年 9 月）
- 「はじめての万葉集 vol.17 朝妻の霧」（『県民だより奈良』2015 年 9 月号〔第 351 号〕、奈良県広報広聴課）、平成 27 年 9 月
- 「はじめての万葉集 vol.19 引手の山」（『県民だより奈良』2015 年 11 月号〔第 353 号〕、奈良県広報広聴課）、平成 27 年 11 月
- 「飛鳥むかしむかし（105）万葉集の世界編 文化的価値」（『朝日新聞』2015 年 11 月 13 日号）、平成 27 年 11 月
- 「飛鳥むかしむかし（106）万葉集の世界編 飛鳥の女性たち」（『朝日新聞』2015 年 11 月 20 日号）、平成 27 年 11 月
- 「飛鳥むかしむかし（107）万葉集の世界編 伎楽—飛鳥時代の芸能」（『朝日新聞』2015 年 11 月 27 日号）、平成 27 年 11 月
- 「おすすめ万葉歌」（『よろずは』平成 27 年 12 月）
- 「飛鳥むかしむかし（108）万葉集の世界編 画期としての飛鳥」（『朝日新聞』2015 年 12 月 4 日号）、平成 27 年 12 月

竹本 晃（平成 27 年 5 月 31 日 退任）

〔研究論文〕

- 「景行巡幸伝承にみる『豊後国風土記』撰者の試み」（『万葉古代学研究年報』第 13 号）、平成 27 年 3 月
- 「金井沢碑からみた物部系氏族の展開」（『由良大和古代文化研究紀要』第 19 集）、平成 27 年 3 月

〔書評〕

- 「回顧と展望／日本／古代／二／ウヂの成立過程と名・氏族系譜」（『史学雑誌』第 124 編第 5 号）、平成 27 年 5 月

〔その他〕

- 「はじめての万葉集 vol.9 初瀬の葉摘み」（『県民だより奈良』2015 年 1 月号〔第 343 号〕、奈良県広報広聴課）、平成 27 年 1 月
- 「記紀万葉の故地 10」（『よろずは』平成 27 年 1 月）
- 「『万葉集』写本の影印とカラー写真版」（『万葉図書・情報室だより』41 号、平成 27 年 3 月）
- 「はじめての万葉集 vol.12 龍田の桜よ散らないで」（『県民だより奈良』2015 年 4 月号〔第 346 号〕、奈良県広報広聴課）、平成 27 年 4 月
- 「記紀万葉の故地 11」（『よろずは』平成 27 年 4 月）

小倉久美子

〔研究論文〕

- 「歌語「藤衣」の表現とその展開」（『万葉古代学研究年報』第 13 号）、平成 27 年 3 月

〔その他〕

- 「万葉歌の魅力をさぐる（33）紫草の里を訪ねて」（『天飛ぶ』第 41 号、万葉文化館友の会）、平成 27 年 3 月
- 「はじめての万葉集 vol.11 春の訪れを告げる柳」（『県民だより』2015 年 3 月号〔第 345 号〕、奈良県広報広聴課）、平成 27 年 3 月
- 「歌碑めぐり 11」（『よろずは』平成 27 年 3 月号）
- 「はじめての万葉集 vol.14 巻向の穴師」（『県民だより』2015 年 6 月号〔第 348 号〕、奈良県広報広聴課）、平成 27 年 6 月
- 「歌碑めぐり 12」（『よろずは』平成 27 年 6 月号）
- 「はじめての万葉集 vol.16 瀬に寄せる秘密の恋」（『県民だより』2015 年 8 月号〔第 350 号〕、奈良県広報広聴課）、平成 27 年 8 月
- 「歌碑めぐり 13」（『よろずは』平成 27 年 8 月号）
- 「はじめての万葉集 vol.18 三笠山の月をみる遊士」（『県民だより』2015 年 10 月号〔第 352 号〕、奈良県広報広聴課）、平成 27 年 10 月
- 「歌碑めぐり 14」（『よろずは』平成 27 年 10 月号）
- 「万葉歌の魅力をさぐる（35）水城築造一三五〇年」（『天飛ぶ』第 43 号、万葉文化館友の会）、平成 27 年 11 月

大谷 歩 (平成 27 年 10 月 1 日着任)

[その他]

○「万葉歌と季節の植物 1」(「よろずは」平成 27 年 11 月)

○「はじめての万葉集 vol.20 思い出の場所」(「県民だより奈良」2015 年 12 月号〔第 354 号〕、奈良県広報広聴課)、平成 27 年 12 月

万葉文化館 顧問・客員研究員・研究協力員等一覧

(平成 28 年 1 月現在)

(1) 名誉館長

中西 進 (富山県立高志の国文学館長)

(2) 研究顧問

寺川眞知夫 (元万葉古代学研究所長・同志社女子大学名誉教授)

上野 誠 (元万葉古代学研究所副所長・奈良大学教授)

(3) 客員研究員

坂本 信幸 (高岡市万葉歴史館長)

菅谷 文則 (奈良県立橿原考古学研究所長)

千田 稔 (奈良県立図書情報館長)

辰巳 和弘 (元同志社大学教授)

田辺 征夫 (奈良県立大学特任教授)

湯山 賢一 (奈良国立博物館長)

和田 萃 (京都教育大学名誉教授)

影山 尚之 (武庫川女子大学教授)

(4) 共同研究員

主宰共同研究員

加藤 耕義 (学習院大学外国語教育センター教授)

Jason WEBB (南カリフォルニア大学准教授)

曹 咏梅 (神奈川大学非常勤講師)

委託共同研究員

辰巳 正明 (國學院大學名誉教授)

山口 敦史 (大東文化大学教授)

鈴木 道代 (國學院大學助教)

(5) 名誉研究員

寺川眞知夫 (元万葉古代学研究所長・同志社女子大学名誉教授)

上野 誠 (元万葉古代学研究所副所長・奈良大学教授)

松尾 光 (元万葉古代学研究所副所長・早稲田大学非常勤講師)

(6) 研究協力員

松田 信彦 (元万葉古代学研究所主任研究員・鹿児島工業高等専門学校教授)

西地 貴子 (元万葉古代学研究所研究員・福岡女学院大学非常勤講師)

大館 真晴 (元万葉古代学研究所主任研究員・宮崎県立看護大学教授)

吉原 啓 (元万葉古代学研究所研究員・大田原市なす風土記の丘湯津上資料館学芸員)

曹 咏梅 (元万葉古代学研究所主任研究員・神奈川大学非常勤講師)

垣見 修司 (元万葉古代学研究所職員・同志社大学准教授)

竹本 晃 (元万葉文化館主任研究員・京都市埋蔵文化財研究所調査研究技師)